

常磐公園 植栽計画市民ワークショップ(第1回) 会議録

日時 : 平成26年9月9日(火) 18:30~20:00
会場 : 旭川市保健所1階講座室
出席者 : 地域住民 15名
 : 専門家 1名(オブザーバー)
 : 事務局 6名(旭川市公園みどり課3名、(株)建設技術研究所3名)
配付資料 : 議事次第
 : 出席者名簿
 : 第1回 常磐公園 植栽計画市民ワークショップ 説明資料

○会議録

開会后、はじめにオリエンテーションとして、ワークショップの目的とスケジュールについて説明された。

続いて常磐公園の概要として、常磐公園の成り立ち、位置づけ等について説明が行われた。

次に、常磐公園の自然環境を把握するため、昨年度から実施されてきた動植物調査について、結果の概要報告が行われ、園内の樹木を利用している動物を確認したこと、外来種の割合が高いこと等が報告された。

続いて、常磐公園のみどり(樹木)について、現状と発生している課題についての説明が行われた。

資料説明の最後として、工事と植栽場所について、樹木の保全方針等、簡単に説明が行われた。

その後、①将来の常磐公園について望むこと、②常磐公園のみどりの問題について、③問題の解決方法についてのアイディアの3つについてグループ討議が行われた。最後に全体で意見発表を行った。グループ討議で出された意見は、別紙のとおりである。

■ Aグループ

アイデア

- 細い木...木陰欲しいので大きい木を在来種、適切に間引く。自然の力活かす。
- ポプラ...北海道的(土地に合った) ←日本庭園にする必要はない。りっりん公園の方が良い。外来樹。湿地に
- どんぐりの木。子供がよろこぶので。
- 木陰をもっと作る。
- イチョウ。大人もよろこぶ。
- オジロワシ→高所にとまる。ポプラないが中高組み合わせる。キケン切れはなく大切に。
- 枝落ちてきてキケン。→注意を促して...高木を残す。

将来

- 公園に行かなくなった。危ない。暗い。明るく安全第一に。
- ふんをなくして座れるように美しく
- この計画の残念、売店がなくなった。人が来なくなるので人が来れるよう。
- やすらぎのある公園にして欲しい。
- 閉ざされている感あった。堤防との一体感。河川敷を楽しめるように。
- 昔からなじみあり。おばあちゃんとおにぎり食べたりサンドイッチ食べた。市民が親しめる公園
- 木を植えて緑を豊かに
- 将来..100先のイメージ堤防を活かしたい。遠方の山々も見えるので
- 現況維持しながら、手入れをしながら今の生態系を

みどり

- 木を整理して欲しい。
- 桜とか季節感を
- ずっと木を植えていない。みんなで植えて更新を。
- 郷土木を主として考えて欲しい。花のつく木を考えて欲しい。(エゾザクラ)
- リス、ワシが見える、来る植樹を
- 緑が多いと良い。(河川敷は木がない)
- 価値ある木を残して欲しい。

反対意見・質問

- 木の伐採が残念。緩斜面化なぜ
- なぜコンサルタントにWSを委託しているのか。予算も知りたい。
- 河川敷に植栽できないか。

■ Bグループ

アイデア

- 今後は質の高いみどりが必要。
- いろんな彩りの樹を入れる。立体的なみどりの空間を作る。
- つる性の木本も混ぜてアクセントをつける。
- 開葉の遅い木はボリュームが出にくい。
- 将来的に伐る計画を最初に立てて欲しい。
- 大きな樹は移植が難しい。
- 木は伐って育てるべき。

将来

- 公園にあって「いやし」「やすらぎ」があれば嬉しい。そういう意見も大切にして欲しい。
- 色々な種類の木に触れ合えるようにして欲しい。
- サクラの木を増やしてほしい。
- 旭川にある樹を増やして欲しい。

みどり

- 管理がしっかりしていれば問題は防げる。
- 密植させたアカエゾマツは生け垣として植えたもの。